

★ 高岡市民歩こう会 ★ H28 第8回 平成28年7月17日(日)

射水「白鳥伝説ゆかり・鳥取の里と大島中央公園」コース 予定 約5km 予定表

8:50 あいの風とやま鉄道小杉駅南口 集合

↓
一里塚 休憩
↓
恵命奄 拝観・休憩
↓
大島中央公園
鳥取の里

↓
全国の大島の付く町村名 石坂
↓
あいの風とやま鉄道大門駅 解散



帰りの電車					
大門→高岡		高岡→伏木		高岡→戸出	
大門発	高岡着	高岡発	伏木着	高岡発	戸出着
14:00	14:03			14:31	13:45
14:32	14:36				
15:01	15:05	15:26	15:38	15:41	15:55
15:27	15:31	16:17	16:29	16:42	16:55



およそ2000年前ほどのことであるが、生まれつき言葉の不自由な第11代垂仁天皇の皇子・誉津別命(ほむつわけのみこと)が大空を渡る一羽の白鳥を見て「あれは何か?」と初めて口を開かれた。天皇は大変よろこばれ、その白鳥をとらえてくるよう命じられた。命令を受けた鳥取りの名人・湯河板誉(ゆがわたな)がすぐ白鳥を追いつの国・播磨の国・信濃の国など9つの国々を駆け廻り、ついに越の国・和那美の水門(わなみのみなど)で白鳥をその手にしたと伝えられている。これが『古事記』にある鳥取り伝説である。



次回は 9月4日(日)

呉羽
豊太閣の足跡を訪ねて
「呉羽山 白鳥城址」
コース 約8km

集合
午前9時
あいの風とやま鉄道呉羽駅前



新開発地区の園木二平の夢枕に聖徳太子が現れて「庭に埋められているから、掘り上げるように」とお告げがあった。翌日、庭を掘ってみると、一体の聖徳太子像が出現した。この像は、カツラのような広葉樹の一木造り立像で、高さ45cm、制作は室町時代と推定される。年一度のご開帳には、太子の尊容を拝もうとする人々で堂が埋めつくされる。この像には、不思議な逸話が数多くあったといわれる。現在、由緒ある元の屋敷の面影は見られないが、太子像出現地には石碑が建てられている。

